

## 1. デジタル技術が社会や当社の競争環境に及ぼす影響について

デジタル技術が社会や当社の競争環境に対して及ぼす影響を以下のように認識しています。検討においては、外部環境の分析フレームワークである PEST 分析および自社の環境分析のフレームワークである 3C 分析を活用しました。

### (1) デジタル技術が社会に及ぼす影響

<b>P : Politics</b> 政治	デジタル技術の向上・普及が一般的なものであることを前提に政策が検討される。 例:一定以上の機能を持ったスマートフォンを国民が持っていることを前提とした政策 (マイナンバーカードをスマートフォンで読み取ってログインするシステムなど)
<b>E : Economy</b> 経済	デジタル技術の向上・普及により、社会全体の業務効率が向上し、経済成長率の向上が予想される。デジタル技術を積極的に活用する姿勢を取り続けないと、競合に対して遅れをとり競争力が失われてしまう。
<b>S : Society</b> 社会	スマートフォン、PCの性能は向上を続け、一般消費者でも高品質なデジタル製品を入手できる。 例:個人所有のスマートフォンで高品質な写真撮影ができることが常識となっている。
<b>T : Technology</b> 技術	デジタル技術の向上・普及により、業務効率の向上や革新的な製品・サービスが生まれる。デジタル技術に関する知識・スキルの習得を計画的に行う事や、デジタル技術に精通した人材の採用の重要度が高まる。

#### Politics (政治)

近年では、デジタル技術の向上・普及が一般的なものであることを前提に政策が検討、実施されています。例として、マイナンバーカードをスマートフォンで読み取り e-Tax にログインするシステムや、マイナンバーカード作成に対し、電子マネーでのポイント還元などが挙げられます。今後もデジタル技術の向上・普及により、それらを活用した政策が検討、実施されることが予想されます。

#### Economy (経済)

デジタル技術の向上・普及と併せて、業務効率化ツール等の普及も予想されます。これにより、社会全体での労働生産性が向上し、経済成長率の向上が予想されます。このような経済においては、デジタル技術の積極的な活用に取り組むことができない企業は競合に対して遅れをとり、競争力が失われてしまうことが予想されます。

#### Society (社会)

スマートフォン、PC の性能は向上を続け、一般消費者でも高品質なデジタル製品を簡単に入手でき

る環境となっています。例として、個人所有のスマートフォンで高品質な写真撮影ができたり、高性能な PC と動画編集ソフトにより、個人レベルでも高品質な動画編集ができたりする状況となっています。今後も、デジタル技術の向上によって一般消費者に高品質なデジタル製品が供給されることが予想されます。

## Technology (技術)

デジタル技術の向上・普及により、業務効率の向上や革新的な製品・サービスが生まれており、今後もこの傾向は続く見込みです。そのため、デジタル技術に関する知識・スキルの習得を計画的に行う事、デジタル技術に精通した人材の採用の重要度はさらに高まっていくと思われま

### (2) デジタル技術が当社の競争環境に及ぼす影響

<p><b>Customer</b> 市場・顧客</p>	<p>高性能なスマートフォンや、高性能なデジタル一眼レフカメラ、デジタルミラーレス一眼の普及により、家庭でも高品質な写真撮影が可能となっている。これにより、顧客がプロのカメラマンに撮影を依頼する際は、さらに高品質な写真撮影はもちろん、被写体の個性を活かした表情を捉えることなどを求められる。</p>
<p><b>Competitor</b> 競合他社</p>	<p>当社同様の小規模フォトスタジオ他社もデジタル技術の活用によって、単純な事務作業の自動化を行うことが予想される。そのため、競合他社は人件費を事務作業員に投下するのではなく、撮影や写真編集等のサービスを提供する人員に投下する動きがあると思われる。</p>
<p><b>Company</b> 自社</p>	<p>予約手続きや撮影後の写真・商品選び、商品の発送等の手続きについてはデジタル技術を適切に活用することで業務効率の大幅な改善につながる。一方、人にしかできないお客様への提供価値※の向上に取り組み続け、厳しい競争環境で優位性をもって事業を営む。 ※写真撮影技術、編集技術、撮影時の対応(子供の扱いなど)、お客様との接し方など</p>

### Customer (市場・顧客)

高性能なスマートフォンや、デジタル一眼レフカメラ、デジタルミラーレス一眼カメラ等の普及により、一般家庭でも高品質な写真撮影が可能となっています。これにより、顧客がプロのカメラマンに求めるものとしては、「さらに高品質な写真撮影」「被写体の個性を活かした表情を捉える」など、プロにしか成し得ない顧客提供価値を高めていくことが重要となります。

### Competitor (競合)

当社同様の小規模フォトスタジオ他社においてもデジタル技術の活用により、単純な事務作業の自動化や、アナログ業務のデジタル化による業務効率化の実施が予想されます。そのため、人件費を事務作業に投下するのではなく、撮影や写真編集等のサービスを提供する人員に投下する動きがあると思われま

### Company (自社)

予約手続きや撮影後の写真・商品選び、商品の発送等の手続きについてはデジタル技術を適切に活用することで業務効率の大幅な改善につながります。

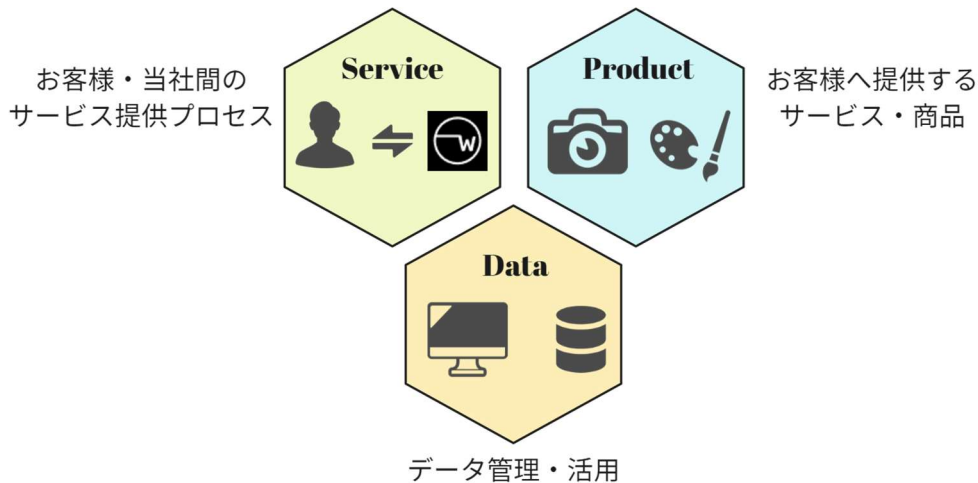
デジタル技術の活用の際は、デジタル化すべき業務とそうでない業務を適切に分類し、人にしかでき

ないお客様への提供価値※についてはさらなる向上に取り組み続け、厳しい競争環境で優位性をもって事業を営みます。

※撮影、編集、撮影時のお子様の対応、お客様との接し方など

## 2. 経営ビジョン

上記を踏まえ、当社は「デジタル技術を活用し、より多くのお客様の物語を綴っていく」をデジタル技術視点での経営ビジョンとします。ビジョン策定にあたっては、以下の3つの視点（Service・Product・Data）を重要と考えました。



### Service

デジタル技術の活用により、お客様へのサービス提供効率の改善に取り組みます

### Product

デジタル技術の活用により、お客様へ提供する商品の品質向上に取り組みます

### Data

デジタル技術の活用により、データ管理の効率化およびデータに基づいたサービス提案に取り組みます

## 3. 経営ビジョン実現のための戦略

経営ビジョン実現のため、Service、Product、Data の3つの視点について、以下のように戦略を定めます。

Service		最新のデジタル技術の状況・活用事例等を確認し、常にサービス提供プロセスの改善やサービスそのものの改善に取り組みます。
Product		最新のデジタル技術を活用した製品（カメラ・編集ソフト等）の情報を収集し、お客様への提供価値向上に繋がるものであれば積極的に導入を検討します。
Data		使い勝手、容量、セキュリティ等、データ管理に必要な条件を確認したうえで、当社にマッチしつつお客様への提供価値向上の助けとなるクラウドサービスの活用やハード機器選定に取り組みます。

#### 4. 戦略を実施するための体制

経営ビジョンの実現および、戦略を推進するための体制として CIO（最高情報責任者）に佐々木直矢を任命します。

また、CIO の配置に加えて従業員にも経営ビジョン・戦略を共有し、必要な知識・スキルの習得に取り組めます。

以上